

[シラス]

1. 経年経過及び平成15年4～5月期の漁況の経過

【西薩海域，志布志湾海域】

バッチ網漁業の漁獲量は，西薩海域では平成11年の6,060トンを一ピークに減少傾向を示しており，平成13年は2,696トン，平成14年は1,106トンでした。志布志湾海域では平成12年の1,407トンを一ピークに減少傾向を示しており，平成13年は736トン，平成14年は396トンでした。

今期は西薩海域でカタクチイワシシラス主体で258トンの水揚げで，前年の107%及び平年の18%でした。志布志湾海域では，カタクチシラス主体で355トンの水揚げで，前年の738%及び平年の196%でした。

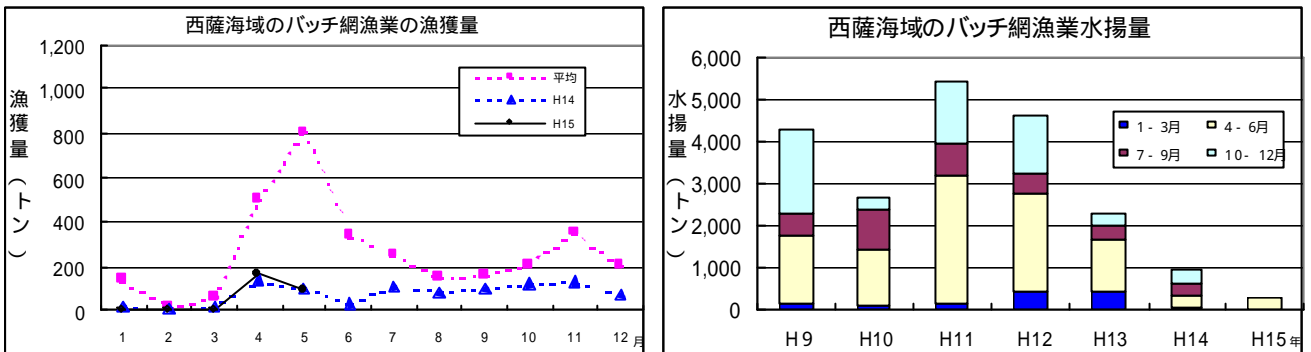


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(5漁協計)

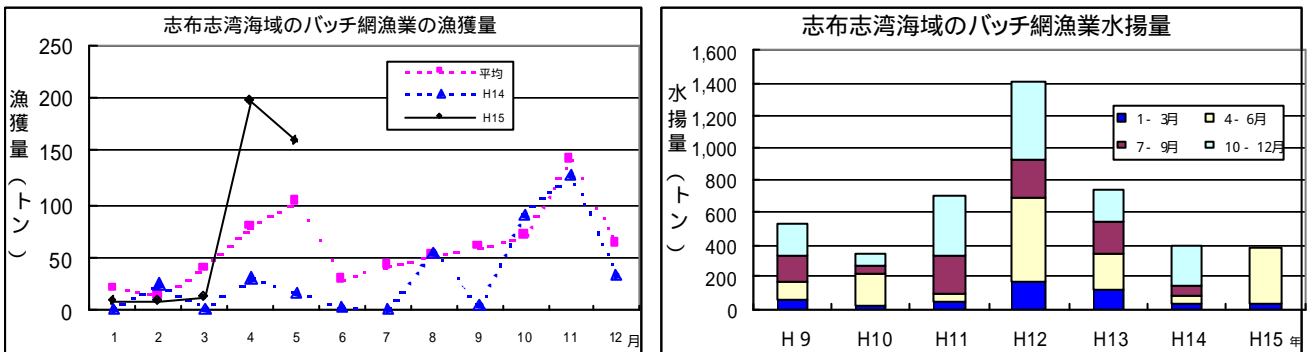


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成10～14年)の平均値，平成15年5月までの水揚げを使用。